

## In brief

# An overview of financial reporting developments

No. 2011-50  
November 18, 2011

*SECスタッフが、2つのスタッフ・ペーパー「米国会計基準とIFRSの比較」および「実務におけるIFRSの分析」を公表*

### 最新の動向

2011年11月16日、米国証券取引委員会(SEC)の主任会計士室は、2つのスタッフ・ペーパーを公表しました。1つめのスタッフ・ペーパーは、米国会計基準(US GAAP)と国際財務報告基準(IFRS)のフレームワーク間の差異をまとめたものであり、2つめのスタッフ・ペーパーは、実務におけるIFRSの適用状況を分析したものです。両スタッフ・ペーパーは、IFRSを米国の財務報告システムに組み込むかどうか、またいつどのように組み込むかに関するSECの決定に関連する検討事項を分析するというSECスタッフのワークプラン(作業計画)を推進するために公表されました。現時点で明らかなのは、SECはいまだ米国発行体のIFRS適用について決定に至っていないということです。

### 何が明らかにされたか？

#### US GAAPとIFRSの比較

SECスタッフは、現行のUS GAAPによる会計処理と国際会計基準審議会(IASB)が公表するIFRSで要求される会計処理との比較を行いました。2010年6月30日現在のUS GAAPのASCコード化体系に含まれる各トピックと2010年1月1日現在で適用されるIFRSとの比較にあたり、SECスタッフは、SEC解釈指針とその他の管轄区域の解釈指針を意図的に排除しました。その結果、今回の比較では現在最終基準化されているガイダンスに焦点が当てられています。

現在進められている共同基準設定プロジェクトはこの分析には含まれませんでした。これについては、別途SECスタッフが評価を行っています。これらのプロジェクトが完了するタイミングは明らかではありませんが、SECスタッフは、SECがIFRSについて最終的にどのような決定を下すにしても、これらの共同プロジェクトの進展は重要だと指摘しています。

端的に言えば、当スタッフ・ペーパーは、US GAAPにはIFRSにない産業別または取引別の基準があるため、より詳細なガイダンスが含まれていることを再確認するものになっています。一方、IFRSは、どの産業にかかわらず適用可能な広範な原則に基づいています。その結果、US GAAPが、ある産業内での首尾一貫性を促進するのに対し、IFRSは、業界を超えた首尾一貫性を促進することになります。

スタッフ・ペーパーは、さらに、US GAAPとIFRSの概念フレームワーク間の差異を取り上げています。認識および測定に関するガイダンスにおけるこれらの概念的な差異は、今後新基準が公表されるにつれて追加されるかもしれません。しかしながら、このような差異は、必ずしもIFRSの品質に直接的なまたは一貫し



た相関関係があるわけではありません。

### 実務におけるIFRSの分析

実務におけるIFRSの適用をより理解するために、SECスタッフは、企業の売上高ランキングである2009年度フォーチュン・グローバル500にランクインしている企業が作成したIFRS適用財務諸表を分析しました。それらの企業はさまざまな業界を代表する企業で、183社の約80%がEUを本拠地とする企業でした。分析の対象となった財務諸表には、現在または過去のSEC登録企業76社の財務諸表が含まれていました。

SECスタッフは、財務諸表は概ねIFRSの規定に準拠しているように見受けられると判断しましたが、一部の差異が指摘されました。明確な情報を入手することができなかったため、SECスタッフはこの差異がIFRSからの重大な逸脱かどうかを判断することはできませんでした。

全体的な分析では、さまざまな地域でのIFRS適用に一定水準の多様性があることを指摘しています。この多様性は、IFRSに含まれる選択肢や、過去に適用した自国または規制当局のガイダンスに基づく実務が原因で生じている可能性があります。このような実務により、特定の地域内での比較可能性は高まりますが、グローバル・レベルでの首尾一貫性は低下します。

この分析は、財務諸表の開示において透明性や明確性を高める必要があることも指摘しています。重要な見積り、主要な仮定、および公正価値情報の会計上の開示を強化することは、投資家の財務諸表に関する全般的な理解をさらに助けることになるでしょう。

SECスタッフは、現在または過去のSEC登録企業については、所見が少なかったことを指摘しています。SECスタッフは、この要因として、SECによる開示のレビュー・プログラムにより、一部の企業の財務諸表に、SECスタッフによって過去提供されたまたは将来提供されると予想されるコメントがすでに反映されていた可能性があることを指摘しています。

### 影響を受ける企業は？

米国の公開企業は、これら2つのスタッフ・ペーパーが、IFRSを米国の財務報告システムに組み込むかどうか、またいつどのように組み込むかに関するSECの決定に影響するという点で、影響を受ける可能性があります。

### 次のステップは？

このスタッフ・ペーパーは、IFRSを米国の財務報告システムに組み込むかどうか、またいつどのように組み込むかに関して検討するための情報をSECに提供することを主な目的としているため、SECスタッフは利害関係者からの意見を求めています。

IFRSを米国の財務報告システムに組み込むことは複雑な作業となります。2つのスタッフ・ペーパーは、今後の議論に加わる新しい視点を提供しており、今後さらに議論が行われる可能性があります。そのため、SECは、年内(2011年度中)に最終決定に至らないかもしれません。

---

*In brief* is designed to provide a timely, high-level overview of significant financial reporting developments. It is issued by the National Professional Services Group of PwC. This publication has been prepared for general information on matters of interest only, and does not constitute professional advice on facts and circumstances specific to any person or entity. You should not act upon the information contained in this publication without obtaining specific professional advice. No representation or warranty (express or implied) is given as to the accuracy or completeness of the information contained in this publication. The information contained in this material was not intended or written to be used, and cannot be used, for purposes of avoiding penalties or sanctions imposed by any government or other regulatory body. PwC, its members, employees and agents shall not be responsible for any loss sustained by any person or entity who relies on this publication.

© 2011 PwC. All rights reserved. Not for further distribution without the permission of PwC. “PwC” refers to the network of member firms of PricewaterhouseCoopers International Limited (PwCIL), or, as the context requires, individual member firms of the PwC network. Each member firm is a separate legal entity and does not act as agent of PwCIL or any other member firm. PwCIL does not provide any services to clients. PwCIL is not responsible or liable for the acts or omissions of any of its member firms nor can it control the exercise of their professional judgment or bind them in any way. No member firm is responsible or liable for the acts or omissions of any other member firm nor can it control the exercise of another member firm’s professional judgment or bind another member firm or PwCIL in any way.

To access additional content on financial reporting issues, register for CFOdirect Network ([www.cfodirect.pwc.com](http://www.cfodirect.pwc.com)), PwC’s online resource for financial executives.